

臨海3Rステーション(NPO 法人エコネットふくおか) 見学記

時田 祐佐

1. グリーンパーク・臨海



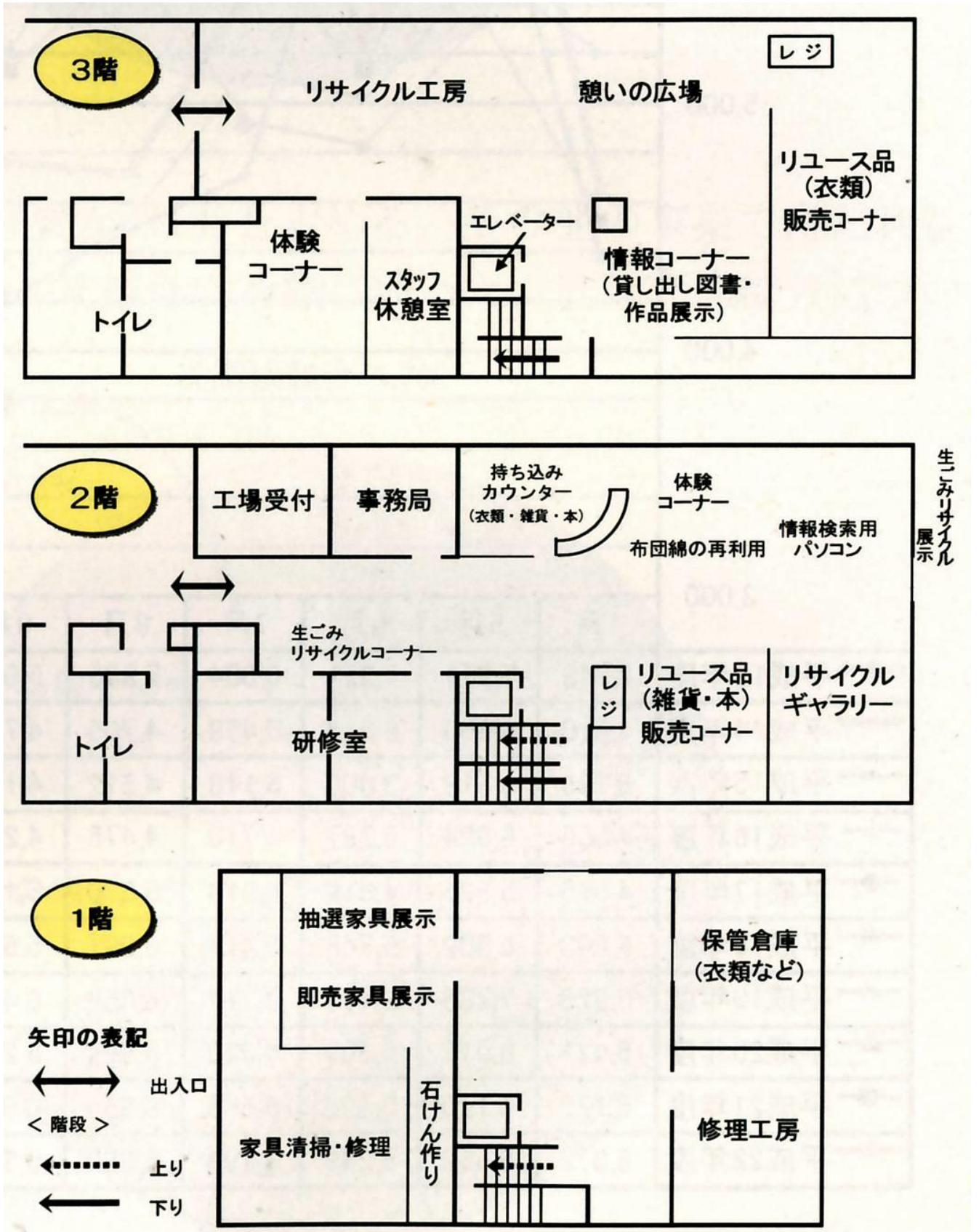
グリーンパーク・臨海 全景
後ろ側(写真では上側)が焼却炉(ストーカ炉 300t/日×3 炉)



グリーンパーク・臨海 正面
中央の円筒形の部分の左側が臨海3Rステーション

2. 臨海3Rステーションの概要

規模等(臨海工場管理棟 西側 1~3階 約 2,150 m²)



3. NPO 法人エコネットふくおかの概要

- 1) 名称 NPO 法人エコネットふくおか
- 2) 所在地 福岡市東区箱崎ふ頭 4-13-42 臨界3Rステーション内
- 3) 設立年月日 平成 13 年 3 月 22 日

※設立までの経緯

- | | | |
|---------|------|--|
| 平成 12 年 | 4 月 | 福岡市が第 2 リサイクルプラザの企画・運営にかかわる
市民ボランティアを募集 |
| | 6 月 | 応募に応じたボランティアが活動開始 |
| | 12 月 | 設立総会(設立当初会員数:51 名) |
| | " | 福岡県 NPO 認証申請 |
| 平成 13 年 | 1 月 | 任意団体として、
福岡市と第 2 リサイクルプラザ事業企画運営業務委託契約締結
3 月末のオープンに向け、広報・展示物作成・研修など準備開始 |
| | 3 月 | NPO 法人設立認証、登記・法人設立
臨海リサイクルプラザ開館、本格的活動開始 |
| | 4 月 | NPO 法人として、
福岡市と臨海リサイクルプラザ事業企画運営業務委託契約締結 |

4) 会員数(平成 25 年 3 月 31 日現在)

- ボランティア会員 153 名(理事・事務局含む)[年会費:1,000 円]
- 賛助会員 13 社[年会費 1 口:10,000 円]

5) エコネットふくおか役員名簿(任期:平成 25 年 7 月 1 日~平成 27 年 6 月 30 日)

理事長	大谷 鮎子	(株)オリジナル・メディア・サービス代表取締役
副理事長	光来 真弓	福岡市環境局循環型社会推進部 部長
理事	村山 博俊	弁護士
理事	城戸 利男	吉塚カトリック保育園
理事	西 祐治	福岡市立老司小学校校長
理事	松井 剛	
理事	中村 文代	
常務理事	中村 徹	エコネットふくおか事務局長
理事	樋口 旭	修理工房部 部会長
理事	今村 涼子	情報・広報部 部会長
理事	西出 啓子	リサイクル教室部 部会長
理事	糸山 マチ子	イベント部 部会長
理事	小島 正	生ごみリサイクル部 部会長

理事	宮本 久代	リサイクル品販売部 部長
監事	古城 保	公認会計士
監事	弓削 なおみ	福岡市環境局循環型社会推進部 循環型社会計画課 課長

※理事会の開催は、2~3回/年程度とのこと、
運営に大きな影響を与えているとは考えにくい。

- 6) 事務局 常勤職員 3名:中村 徹、田中美鈴、真島泰子
臨時職員 1名:久原准子

<小野さんからご依頼の質問項目にこたえる形での見学感想記>

- ① リサイクルプラザの設計段階で事前に、市と詰めておいた方が良かったと思うこと
- ボランティア会員のその後の活躍の場を準備しておくこと
例えば、入会3年後には、地域の先生として地域での活動の核となっただけのがよいと思うが、そのような受け皿がなかなか見つからないので、行政にも受け皿探しに尽力してほしいと思う。
(古い人が何時までも居座ると、新人の活躍が阻害されることになりかねない。
ー 運営のほとんどが待遇一律のボランティア会員によるところからきているかも?)
- ② リサイクルプラザ運営方法と体制、事務局とボランティアとスタッフの関係等々
- 現在の事業委託の形態は、公開入札による指定管理者ではなく、随意契約による委託形態である
 - 隣接するグリーンパーク・臨海の焼却炉の見学者案内は、当初は委託事業に含まれていて実施していたが現在は辞退している。(現在は行政が実施)
 - 当該プラザの運営方法は、ボランティア会員は、次表の 25 のコースから、各自の希望するコースを選択・申告(複数可)し、活動を行うこととなる。

	活 動 内 容(コース)
1	情報発信(広報誌、ホームページ作成・管理更新)、情報収集、図書管理、ビデオ貸出
2	家具の清掃・修理・販売、資源回収(蛍光管・白トレイ・牛乳パック・紙類・衣類等)
3	木工端材で備品作り、小物(額縁・ペン立て等)作り、おもちゃ(パタパタ等)作り
4	まな板(木製)の再生
5	不用な紙等で小物作り(かご・おもちゃ等)、紙すき(はがき・しおり等)、のびのび図工
6	生ごみリサイクル(風乾・堆肥作り・土作り)
7	臨海畑・田んぼ・若宮畑の世話(堆肥作り・種まき・収穫)
8	竹のすりつぶしや落ち葉のすりつぶしの管理等
9	エコクッキング(麴・みそ・甘酒・豆乳作り等)
10	布類リフォーム(作務衣・帽子・エプロン・ドレス・ブラウス等)
11	布類リサイクル(高機や卓上機で裂き織り、裂き織りを使ったコースターやミサンガ等作り)
12	古布でぞうり作り
13	布団作り(ベビー布団等)
14	布団綿リサイクル(糸紡ぎや洗い布・タオル・帽子・マフラー作り等)
15	傘布バッグ、傘布グッズ作り
16	フリーマーケット
17	ギャラリー展示
18	リサイクル石けん作り
19	事務局補助(事務・すべての活動のサポート)
20	フリーペーパー等への情報提供
21	2Fの持ち込み日用品や本の仕分け・展示・値付け・販売
22	3Fの持ち込み衣類の仕分け・展示・値付け・販売
23	マイバッグ推進のためのキャンペーン
24	おもちゃの病院
25	傘の解体と修理

- ▶ 出勤は義務となる当番日と自由参加日の二通り、いずれの場合も、手当は原則、交通費相当の1,500円/日のみ。
なお、これ以外に、出前講座の講師としての活動もあり、この場合、別途手当が支給されるとのこと。
- ▶ 内部の会議においては、入所後の2～3年経った人にやっていただく。
- ▶ 入所後3年以上の方には、来館者の対応を担当していただいている。また、技術を持っている人には、出前講座の講師をお願いしている。

- ③ 現在運営していて、良いと思うことと改善しなくてはいけないと思うこと
- このことは、ボランティア会員の育成計画とも関連し、古参会員に外部にその後の活躍の場がないといつまでもリサイクルプラザに残ることとなり、新人会員の参入の機会も抑えられ、活動が固定化することにもなりかねない。その点からも、経験者の外部への転出と新人の補充は必要。
 - 現在 6 部制を取っているが、イベント企画は各部からの提案が主体で運営されているが、予算は一括管理であり、イベント開催が多くなると支出も増えるが一方で事業収入(リホーム品の製作が減少)がすることとなるので、予算管理を部単位でやることも検討され経緯はある。

④ 設備の面で、留意すべき点等々

- 作業台の高さ、料理教室の流し台等々は、受講者、使用者の年齢(身長)等を十分考慮して決めること
(子ども用と大人用の区分は必要)



⑤ 家具の修理販売で、スペースや工具と販売方法、働いている人々の体制

- ボランティア会員ということで実施中。
- 持ち込み品は、すべて、無償で受け入れ、リユース品・リホーム品は、有償で販売し、「その他の事業収入」となる。



⑥ 衣類の販売の運営体制と販売体制、利用率や問題点等々

- ボランティア会員ということで実施中。
- 持ち込み品は、すべて、無償で受け入れ、リユース品・リホーム品は、有償で販売し、「その他の事業収入」となる。
- 事業者によるものと思われる大量購入があるので、1 回の購入点数を最大 20 点までに制限している。



⑦ 染物や裂織や着物のバッグ作り等々の工房がどのように運営されているのか、留意すべき点はあるか

- ボランティア会員ということで実施中。
- 持ち込み品は、すべて、無償で受け入れ、リユース品・リホーム品は、有償で販売し、「その他の事業収入」となる。



⑧ 工房の設備等の問題点や事前にやっておいたほうが良いこと等々

- 必要以上に高い天井高(右側の写真)、
取ってつけたような排気装置(下側の写真)
多分、建物ができた後に、中に入れるものを決めた？



⑨ 布団のリサイクルはその後どうなっているのか

- 現在も実施中。



糸に紡ぎ、コースター等にリホーム

⑩ 収支等々はどうなっているか

➤ 平成 22 年度の収支計算書の提供を受けたので、以下に示す。

<エコネットふくおかの収支状況>

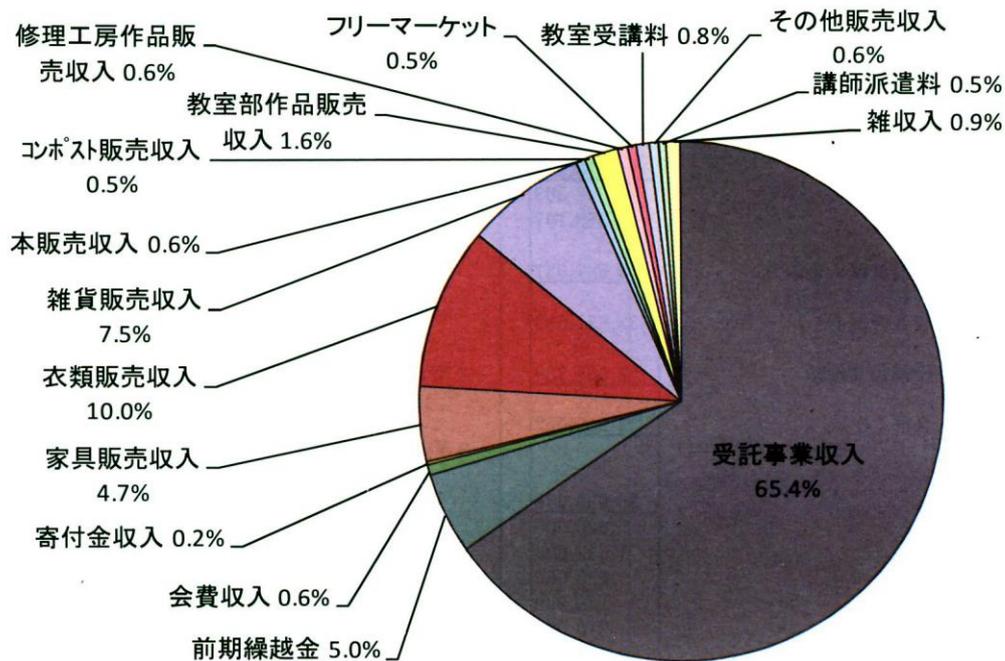
年間総収入 41,574,964 円 [その他の事業 11,252,879 円、福岡市からの受託料 27,169,800 円、
21 年度繰越 2,088,389 円含]

年間総支出 39,208,701 円 次年度繰越 2,366,263 円

収入

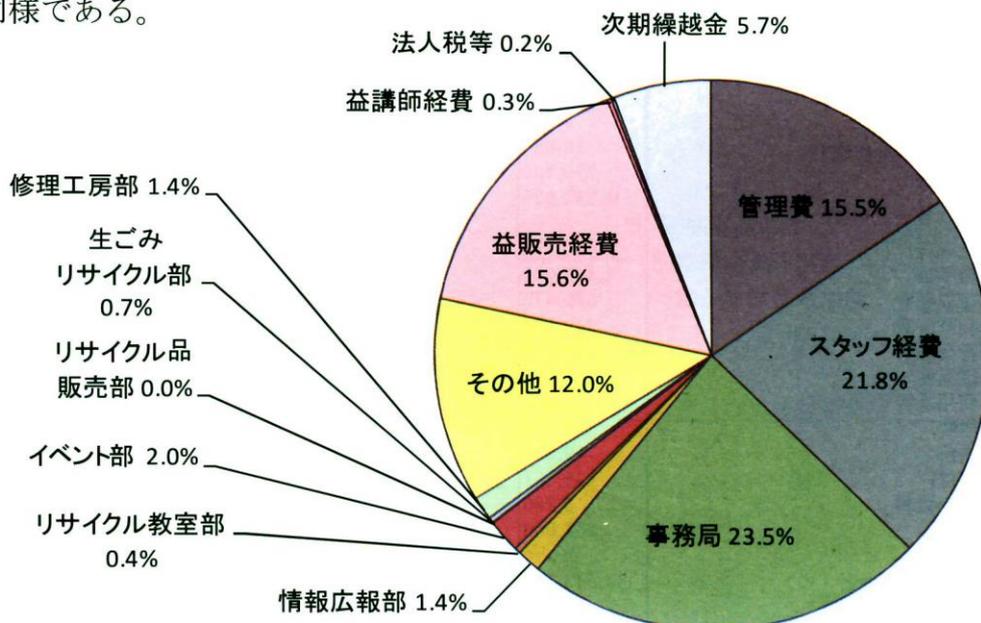
収入としては、福岡市からの受託料が 65%、前期繰越金が 5% を占める。

その他の事業はリユース衣類・雑貨・本・家具の販売収入や講師派遣料などを合計して 27% である。



支出

管理費が 15%、ボランティアスタッフ経費が 21% を占める。その他の事業で得た利益については、主に特定非営利活動である 3 R 推進の活動に使った。次年度繰越分についても同様である。



<収支計算書>

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

科目	金額
I 収入の部	
1 会費収入	265,000
正会員会費収入	125,000
賛助会費収入	140,000
2 事業収入	27,517,460
1) 福岡市からの受託業務収入	27,169,800
2) 教室・講座等参加者からの必要経費収入	347,660
3 補助金等収入	
1) 助成金	0
4 寄付金収入	92,736
5 雑収入	358,500
1) 受取利息	303
2) 雑収入	358,197
6 その他の事業会計繰入金収入	4,587,937
当期収入合計(A)	32,821,633
前期繰越収支差額	2,088,389
収入合計(B)	34,910,022
II 支出の部	
1 事業費	26,090,005
給料手当	5,620,000
雑給	1,533,000
法定福利費	825,063
福利厚生費	139,999
講師料	310,000
旅費交通費	9,751,233
活動費	165,500
消耗品費	849,272
事務用品費	40,564
通信費	461,228
郵送料	276,460
新聞図書費	83,355
広告宣伝費	5,000
リース料	2,976,681
保険料	737,180
研修費	151,680
会議費	0
諸会費	5,000
支払手数料	29,055
租税公課	776,700
雑費	1,353,035
2 管理費	6,453,754
給料手当	4,440,000
法定福利費	620,473
福利厚生費	249,560
旅費交通費	679,090
消耗品費	1,780
事務用品費	2,905
通信費	48,505
郵送料	19,820
リース料	135,861
支払手数料	3,760
雑費	252,000
当期支出合計(C)	32,543,759
当期収支差額(A)-(C)	277,874
次期繰越収支差額(B)-(C)	2,366,263

その他の事業会計収支計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

科目	金額
I 収入の部	
1 事業収入	
1) 3Rの推進に関する物品・情報等の販売収入	11,065,479
2) 3Rの推進に関する講師派遣等	187,400
当期収入合計(A)	11,252,879
前期繰越収支差額	0
収入合計(B)	11,252,879
II 支出の部	
1 事業費	
1) 3Rの推進に関する物品・情報等の販売経費	6,486,833
2) 3Rの推進に関する講師派遣等	107,052
当期支出合計	6,593,885
2 管理費	
法人税等	71,057
3 特定非営利活動事業会計繰入金支出	4,587,937
当期支出合計(C)	11,252,879
当期収支差額(A)-(C)	0
次期繰越収支差額(B)-(C)	0

⑪ これから作るリサイクルプラザへの気をつける点

- 市民が通り道にしてくれるような場所に作るのがよい
- リサイクルプラザに興味のない人をどうしたら興味を持ってもらえるようにするか
- 様々なキャラクターを持ったたくさんの方が集まってくるので、そのような状況での NPO の在り方についての勉強も必要